

特集

VR で未来を変える！

教育における VR の活用を展望する 廣瀬通孝

VR 認知症の看護教育への活用——活用へのきっかけから、

教育プログラムの実行まで 山川みやえ／内藤知佐子／古谷和紀

【座談会】VR が照らす看護教育の未来

下河原忠道／堀田聡子／山川みやえ／内藤知佐子／古谷和紀

【連載】

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・2 阿久津裕彦

キネステティック・クラシック・ネオ

動きの言語化のツールが可能にすること・2 中本里美

授業を良くする！ 教育関連理論・4 西野毅朗

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・8 種村剛

リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・11 伊藤亜紗

すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・11

佐藤紀子ほか

看護教育、継往開来・10 江藤裕之・林千冬

編集後記

●弊誌で初めてインストラクショナルデザインを取り上げたのは、54巻4号(2013年4月号)の特集「授業設計再入門」でした。そのときは、看護の基礎教育でも急速に広まるのではないかと予想したのですが、臨床教育のほうでは多く取り組まれたものの、なぜか基礎での事例はほとんど見られませんでした。それから4年、やっと基礎教育に取り入れる人たちが現れ始め、タイミングを合わせるかのように、熊本大学にインストラクショナルデザイン研究・開発を担う教授システム学研究センターが開設されたので、今回本格的に特集を組んでみました。●授業設計は教育の基本ですが、看護教育においては教育の専門家による指導がまだまだ不足していると思います。今回の特集を読んで、今まで行ってきた方法をリフレクションし、発展させていただければ幸いです。……大野

●一昨年の「看護過程再考」以来、タナー先生の「臨床判断モデル」を追いかけてきたので、今回「ラサター臨床判断ルーブリック日本語版」をご紹介できたのは望外の喜びです。読者の方から書籍化のご希望も伺うこともあり、うれしい限りです。新しい教育を掲載できる雑誌のありがたみを感じています。今回のルーブリックも、ぜひまたご意見やご感想などお寄せください。インフォメーション欄と重なりますが、2018年1月11日(木)14:00～より、聖路加国際大学でラサター先生の講演もあるようです。入場も無料です。詳しくは聖路加国際大学大学院 Future Nurse Faculty 育成プログラムまでお尋ねください。私もこの号を並べています。●今夜は羽生先生が永世七冠を獲得された夜です。尊さを感じています。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第59巻 第1号 2018年1月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.12

2017 年 12 月
特集

省察的実践者を育む シヨーンからの提起とともに

確立された技術を学び、実践に応用する、という従来の「専門職」観を脱却し、自身の行為を、変化する状況のなかで振り返りながら実践していく、という新たな専門職の実践「省察的実践」を打ち立てた『省察的実践とは何か』(2007 年)、そして 2017 年に翻訳が刊行された『省察的実践者の教育』は、世界の教育学・看護教育学の論文でも膨大な引用数を誇ります。著者であるシヨーンは、現在もっとも影響力をもっている学習理論家の 1 人だと言えるでしょう。

しかし同時に、シヨーンほど誤解されている理論家もいないかもしれません。シヨーンの著作に「正解」や「マニュアル」「わかりやすい定義」を求め、それを学んで応用しようという、多くなされているこの読まれ方こそ、まさにシヨーンが否定しようとした、古い専門職の姿勢に他ならないからです。シヨーンを読むということは、語られた事例に自身の実践も照らし合わせながら、実践の意味、また実践の背景となった、思考のフレームを組み替えていくことを意味しています。そのような省察によってこそ、専門職としての学びが得られることが、シヨーンの重要な提起だといえるでしょう。

今回の特集では、できる限り、シヨーンの提起した問題意識を引き継ぐべく、シヨーンの思考の流れを確認していくと同時に、複数で実践を語り合うことで照らし合わせられる省察の事例を掲載いたしました。皆さんの探究を誘うきっかけになれば幸いです。

■「省察的実践者の教育」を読み解く
……………柳沢昌一

■看護教育におけるシヨーンの提起の重要性……………前川幸子

■シヨーンの探究に誘われて——協働探究の試み

【事例 1】学生がピンとくるイメージを伝えるわざを磨く……………岡本朋子／村田晶子

【事例 2】ピアによるディスカッションにおいて、リフレクションを深めていくこと……………室井佳奈／村田晶子

【事例 3】教員同士のリフレクションという実践：気づきの連鎖……………

……………青野美里／前川幸子

【事例 4】クロスセッションを組織することとおして得た専門職教員の学びの省察……………相山委都子／入江直子／村田晶子



Vol.58 No.11

2017 年 11 月
特集

ティーチング・ポートフォリオで 得られること

大学教員の SD (Staff Development) 義務化により、教員の評価は、論文の数など研究業績だけでなく、教育実績をも基にするものに変わろうとしています。そこで必要なのは、個々の教員がどのような教育活動を行っているかが客観的に見える指標。その代表的なものが、ティーチング・ポートフォリオです。

教育活動の総括的なリフレクションを促し、教育経験情報を集積し、根拠に基づく表記で業績資料となるティーチング・ポートフォリオですが、実際に作成しようとなると、時間と労力がかかるため、二の足をふむ人も少なくないでしょう。しかし、その作成補助ツールであるティーチング・ポートフォリオ・チャートや短縮版であるティーチング・ステートメントを含めれば、今すぐ作成し活用することはそれほど困難ではありません。もちろん、専門学校の教員にとっても有意義なものです。

本特集は、教員の教育力向上と評価のために、今後不可欠になるであろうティーチング・ポートフォリオをその派生版も含めて、意味や作成法を詳しく知ってもらおうと組まれたものです。学生にポートフォリオ(ラーニング・ポートフォリオ)を書かせるならば、ぜひ教員も作成に挑戦してみてください。

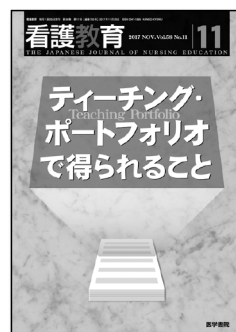
■教育の質を問うティーチング・ポートフォリオをあらためて俯瞰する……………栗田佳代子

■【対談】ティーチング・ポートフォリオ・チャートは、教員に何をもちたすか——作成ワークショップに参加して……………北浦益代／栗田佳代子

■大学全体で取り入れるティーチング・ポートフォリオー看護教員として作成に取り組んで……………末次典恵
コラム：佐賀大学における TP の取り組みの概要……………皆本晃弥

■看護学科で取り組むティーチング・ポートフォリオ……………宗正みゆき／宮林郁子

■教員の活動全体を可視化し振り返るためのアカデミック・ポートフォリオ……………吉田壘
コラム：SAP 作成ワークショップに参加して……………三浦友理子



[2017 年 10 月号 (Vol.58 No.10)]

実践的思考力を育む

[2017 年 7 月号 (Vol.58 No.7)]

リフレクションから授業研究
(レッスン・スタディ)へ

[2017 年 9 月号 (Vol.58 No.9)]

学生とつくる授業
学生がつくる授業

[2017 年 6 月号 (Vol.58 No.6)]

実践知の学びを再考する
“わざ言語”

[2017 年 8 月号 (Vol.58 No.8)]

「読む、書く、話す」で、
教育力の充実を

[2017 年 5 月号 (Vol.58 No.5)]

「楽しい」解剖学を求めて

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 11 月号 (Vol. 56, No.11) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 12 月号 (Vol. 56, No.12) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。